

子どもの命を守るために チャイルドシートは何歳まで必要？

JAFは身長150cmまで
チャイルドシートの使用を推奨しています



6歳以上であっても子どもの体格によってはクルマのシートベルトが十分な効果を発揮できない場合があるので、その際は、ジュニアシート（背もたれ付きタイプまたは、ブースタータイプ）を活用しましょう。体格の目安は身長150cm未満です。

しかし150cm未満はあくまで目安で、確認のポイントは、シートベルトが首や腹部にかからないことです。

※ 機種やクルマの構造により、体格の目安が異なる場合があります。

※ ジュニアシートの背もたれ付きタイプは取り付けられない機種やクルマがあるため、6歳以上の子どもでそのようなクルマに乗車する場合、シートベルトが首に掛からないようブースタータイプを使用しましょう。

身長差によるシートベルトのかかり方について

※ 以下の調査結果はあくまでもJAFがおこなった一例です。お子様の体格や車種によってシートベルトのかかり方に個人差があります。



例：140cmのお子様の場合

左 ジュニアシートを使用せず、シートベルトを使用
→ シートベルトが首やお腹にかかってしまっている

右 ジュニアシート（背もたれ付き）を使用
→ シートベルトが肩や腰骨にかかっている



例：145cmのお子様の場合

左 ジュニアシートを使用せず、シートベルトを使用
→ シートベルトが首やお腹にかかってしまっている

右 ジュニアシート（ブースタークッション）を使用
→ シートベルトが肩や腰骨にかかっている



例：150cmのお子様の場合

左 ジュニアシートを使用せず、シートベルトを使用
→ シートベルトが首にかかってしまっている

右 ジュニアシート（ブースタークッション）を使用
→ シートベルトが肩にかかっている



JAF

チャイルドシート
完全ガイドはこちら

